

4 行田市公共施設マネジメント計画策定プロセス

(1) 公共施設に関する市民アンケートの結果

アンケート調査の概要

① 調査の目的

2016年3月に策定した「行田市公共施設等総合管理計画」に基づき、今後具体的な施設再編の検討を行うにあたり、公共施設に関する市民の方のご意見を参考とするため、アンケート調査を実施する。

② 調査の方法

調査対象地域	行田市全域
調査対象	市内に在住する18歳以上の市民（2017年1月1日現在）
標本数	2,000人
抽出方法	単純無作為抽出
抽出台帳	住民基本台帳
調査方法	郵送配布・郵便回収による郵送調査法
調査時期	2017年2月13日（月）～3月3日（金）

③ 回答結果

回答数 746 （回答率 37.3%）

※複数回答があるため各回答の合計数は一致しない。

④ アンケート調査票

公共施設に関するアンケート調査票

あなた自身のことについてお伺いします。

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

- 1 男性 2 女性

問2 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上

問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)

- 1 忍地区 2 行田地区 3 佐間地区 4 持田地区 5 星河地区
6 長野地区 7 星宮地区 8 下忍地区 9 荒木地区 10 須加地区
11 北河原地区 12 埼玉地区 13 太田地区 14 太井地区 15 南河原地区

問4 あなたの就労形態をお答えください。(〇は1つ)

- 1 常勤で就労 2 自営・自由業 3 パート・非常勤 4 学生
5 家事専業 6 無職 7 その他()

問5 あなたの行田市(旧南河原村を含む)での居住年数をお答えください。(〇は1つ)

- 1 5年未満 2 5年以上10年未満
3 10年以上20年未満 4 20年以上

公共施設についてお伺いします。

問6 高度経済成長や都市化の進展に伴い、昭和40年代～50年代に整備された公共施設が全国的に一斉に老朽化し、今後の維持管理や莫大な財政負担などが大きな社会問題になっています。

こうした状況の中、行田市では「公共施設等総合管理計画」(以下「計画」といいます。)を策定し、将来にわたって公共施設を適切に維持管理していく取り組みを進めていることをご存知ですか。(〇は1つ)

- 1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない

問7 行田市の公共施設の現状や課題について、どのくらい関心をお持ちですか。

(〇は1つ)

- 1 非常に関心がある 2 少し関心がある 3 あまり関心はない
4 全く関心がない 5 わからない

問8 「計画」では、公共施設の全体最適化を図り、安心・安全で市民ニーズに対応した持続可能な施設の提供を目指し、今後40年間で公共施設の保有量（延床面積）の27%削減を長期的な目標に掲げています。公共施設の保有量の削減について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は1つ）

- 1 公共施設の保有量の削減を推進するべきである
- 2 公共施設の保有量の削減はやむを得ない
- 3 現在の公共施設の保有量を維持するべきである
- 4 その他（ ）
- 5 わからない

問9 「計画」では、行田市の公共施設の将来の更新等費用は、今後40年間で1,041億円もの多額の費用が必要になると試算しています。今後、公共施設の建て替えや維持管理に必要な財源が不足することが見込まれますが、どのように対処すべきと思いますか。（○は2つまで）

- 1 公共施設の統廃合や複合化を行い、人口規模や財政状況に見合った施設の量にする
- 2 公共施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用し、経費の節減を図る
- 3 近隣自治体と共同で公共施設の整備や運営を行い、施設の量や経費の節減を図る
- 4 公共施設の利用料金を引き上げ、建て替えなどの経費に充てる
- 5 現在行っている行政サービスを削減して、建て替えなどの経費に充てる
- 6 増税などを行い、建て替えなどの経費に充てる
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

問10 仮に公共施設の数減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から見直すべきと思いますか。（○は2つまで）

- 1 老朽化が進んでいる施設
- 2 利用者が少ない施設
- 3 維持管理費や運営費が高い施設
- 4 社会環境の変化などにより、市民ニーズに合わない施設
- 5 類似施設や代替施設が近隣にある施設
- 6 民間で同様のサービスが提供されている施設
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

問 11 人口減少や少子高齢化が進展し、施設の利用ニーズが変化している中で、次に掲げる施設は、今後どうしていくべきと思いますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで、数字に○をつけてください。

施設分類	施設名	施設の量 (面積)を 「拡大」	施設の量 (面積)を 「維持」	施設の量 (面積)を 「縮小」	わからない
(記入例)	○○○センター	1	②	3	4
市民文化系施設	公民館	1	2	3	4
	コミュニティセンター	1	2	3	4
	産業文化会館	1	2	3	4
	男女共同参画推進センター	1	2	3	4
社会教育系施設	郷土博物館	1	2	3	4
	図書館	1	2	3	4
スポーツ・レクリエーション系施設	市民プール	1	2	3	4
	総合体育館	1	2	3	4
産業系施設	商工センター	1	2	3	4
学校教育系施設	小中学校	1	2	3	4
子育て支援施設	市立保育園	1	2	3	4
	学童保育室	1	2	3	4
保健・福祉施設	老人福祉センター	1	2	3	4
	総合福祉会館	1	2	3	4
行政系施設	市役所・支所	1	2	3	4
公営住宅	市営住宅	1	2	3	4
公園	古代蓮会館	1	2	3	4

問 12 公共施設の再編成を進めた場合、身近で利用してきた施設が遠くなるなど、利用しづらくなる場合もあると考えられます。このことについてどのように思いますか。

(○は1つ)

- | |
|--|
| <p>1 許容できる</p> <p>2 ある程度までは許容できる</p> <p>3 許容できない</p> <p>4 その他 ()</p> <p>5 わからない</p> |
|--|

⑤ アンケート調査結果

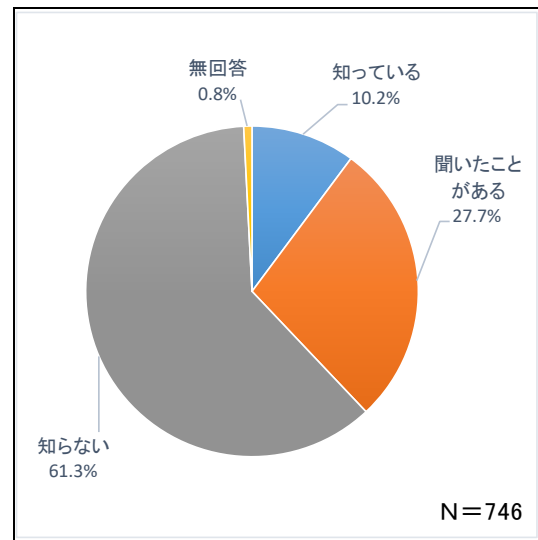
問6 高度経済成長や都市化の進展に伴い、昭和40年代～50年代に整備された公共施設が全国的に一齐に老朽化し、今後の維持管理や莫大な財政負担などが大きな社会問題になっています。

こうした状況の中、行田市では「公共施設等総合管理計画」（以下「計画」といいます。）を策定し、将来にわたって公共施設を適切に維持管理していく取り組みを進めていることをご存知ですか。（○は1つ）

取り組みの認知度については、「知らない」が61.3%と全体の6割以上であり、以下「聞いたことがある」が27.7%、「知っている」が10.2%と続き、策定した計画の取り組みに関して未だ認識していない市民が多いことがうかがえる。

（図表6）取り組みの認知度

	内容	回答数	割合
1	知っている	76	10.2%
2	聞いたことがある	207	27.7%
3	知らない	457	61.3%
4	無回答	6	0.8%
	合計	746	100.0%

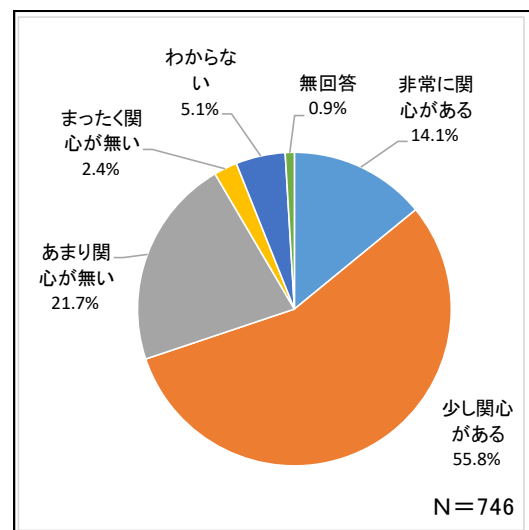


問7 行田市の公共施設の現状や課題について、どのくらい関心をお持ちですか。（○は1つ）

本市の公共施設の現状や課題に対する関心度については、「非常に関心がある」、「少し関心がある」を合計すると69.9%であり、全体の7割近い市民が公共施設の現状や課題に関心を寄せている。次いで「あまり関心はない」が21.7%、「わからない」が5.1%、「全く関心がない」が2.4%と続いている。

（図表7）本市の公共施設の現状や課題の関心度

	内容	回答数	割合
1	非常に関心がある	105	14.1%
2	少し関心がある	416	55.8%
3	あまり関心はない	162	21.7%
4	全く関心がない	18	2.4%
5	わからない	38	5.1%
6	無回答	7	0.9%
	合計	746	100.0%

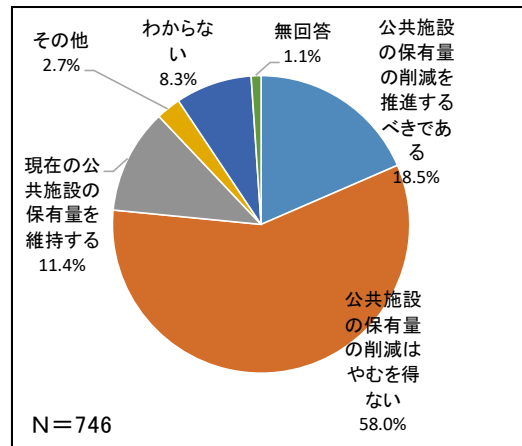


問8 「計画」では、公共施設の全体最適化を図り、安心・安全で市民ニーズに対応した持続可能な施設の提供を目指し、今後40年間で公共施設の保有量（延床面積）の27%削減を長期的な目標に掲げています。公共施設の保有量の削減について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は1つ）

本市の公共施設の保有量を削減することに対する考え方については、「公共施設の保有量の削減はやむを得ない」が58.0%と最も多く、次いで「公共施設の保有量の削減を推進するべきである」が18.5%、「現在の公共施設の保有量を維持するべきである」が11.4%、「わからない」が8.3%であった。
公共施設の保有量を削減することについては、全体の4分の3を超える76.5%の市民が一定の理解を示していることがうかがえる。

（図表 8）公共施設の保有量の削減の考え

	内容	回答数	割合
1	公共施設の保有量の削減を推進するべきである	138	18.5%
2	公共施設の保有量の削減はやむを得ない	433	58.0%
3	現在の公共施設の保有量を維持するべきである	85	11.4%
4	その他	20	2.7%
5	わからない	62	8.3%
6	無回答	8	1.1%
合計		746	100.0%

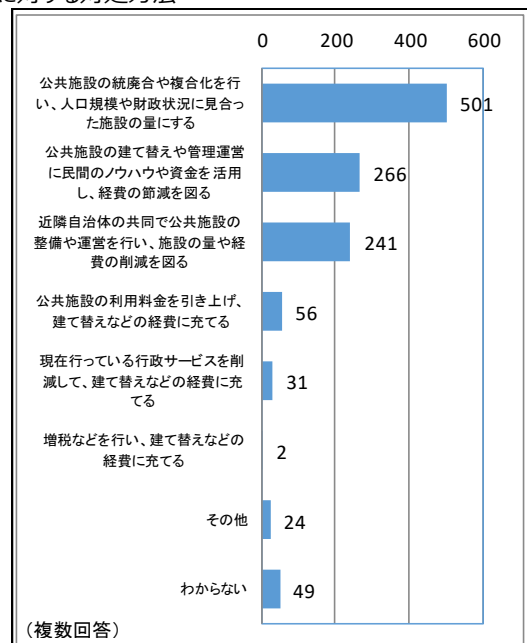


問9 「計画」では、行田市の公共施設の将来の更新等費用は、今後40年間で1,041億円もの多額の費用が必要になると試算しています。今後、公共施設の建て替えや維持管理に必要な財源が不足することが見込まれますが、どのように対処すべきと思いますか。（○は2つまで）

今後の公共施設の建設や管理に伴う財源不足への対処方法については、「公共施設の統廃合や複合化を行う」が42.6%と最も多く、ついで「施設の建設や管理運営に民間を活用し、経費の節減を図る」が22.6%、「近隣自治体と共同で公共施設の整備や運営を行う」が20.5%となっている。一方、「公共施設の利用料金を引き上げる」が4.8%、「現在行っている行政サービスを削減する」が2.6%と少数意見となっている。

（図表 9）今後の公共施設の建設や管理に伴う財源不足に対する対処方法

	内容	回答数	割合
1	公共施設の統廃合や複合化を行い、人口規模や財政状況に見合った施設の量にする	501	42.6%
2	公共施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用し、経費の節減を図る	266	22.6%
3	近隣自治体と共同で公共施設の整備や運営を行い、施設の量や経費の節減を図る	241	20.5%
4	公共施設の利用料金を引き上げ、建て替えなどの経費に充てる	56	4.8%
5	現在行っている行政サービスを削減して、建て替えなどの経費に充てる	31	2.6%
6	増税などを行い、建て替えなどの経費に充てる	2	0.2%
7	その他	24	2.0%
8	わからない	49	4.2%
9	無回答	7	0.6%
合計		1177	100.0%

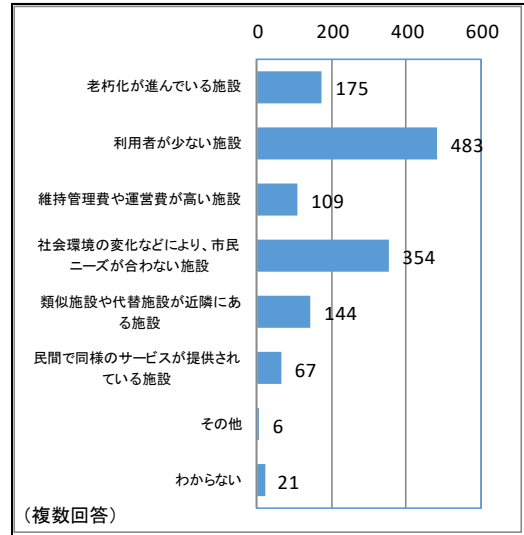


問 1 0 仮に公共施設の数を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から見直すべきと思いますか。
(○は2つまで)

施設の見直し対象箇所については、「利用者が少ない施設」が35.4%と最も多く、ついで「社会環境の変化などにより、市民ニーズに合わない施設」が26.0%、「老朽化が進んでいる施設」が12.8%、「類似施設や代替施設が近隣にある施設」が10.6%となっている。

(図表 1 0) 施設の見直し対象箇所

	内容	回答数	割合
1	老朽化が進んでいる施設	175	12.8%
2	利用者が少ない施設	483	35.4%
3	維持管理費や運営費が高い施設	109	8.0%
4	社会環境の変化などにより、市民ニーズに合わない施設	354	26.0%
5	類似施設や代替施設が近隣にある施設	144	10.6%
6	民間で同様のサービスが提供されている施設	67	4.9%
7	その他	6	0.4%
8	わからない	21	1.5%
9	無回答	4	0.3%
合計		1363	100.0%



問 1 1 人口減少や少子高齢化が進展し、施設の利用ニーズが変化している中で、次に掲げる施設は、今後どうしていくべきと思いますか。あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで、数字に○をつけてください。

各施設の今後のあり方については、全体として現在の施設量を「維持」していくべきと考えている市民が多いことがうかがえるが、その中でも、「維持」よりも「縮小」すべきと考えている市民が多かった施設は、「男女共同参画推進センター」と「市営住宅」であった。
一方で、「市立保育園」や「学童保育室」の「子育て支援施設」や、「老人福祉センター」や「総合福祉会館」の「保健・福祉施設」については、施設を「拡大」すべきと考えている市民が、他の施設に比べ多いことがうかがえる。

(図表 1 1) 各施設の今後のあり方について

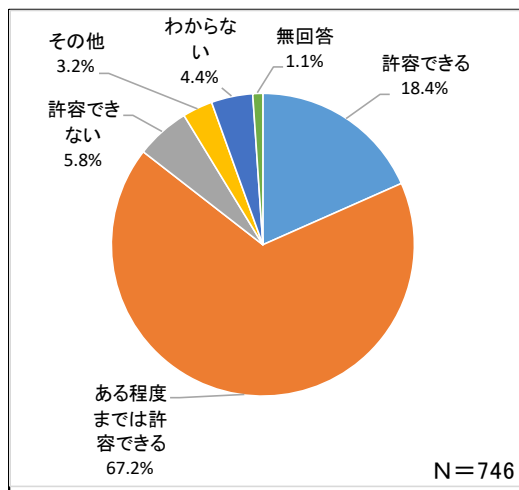
施設分類	施設名	施設の量(面積)を			
		拡大	維持	縮小	わからない
市民文化系施設	公民館	1.8%	61.1%	30.5%	6.5%
	コミュニティセンター	3.4%	43.9%	40.1%	12.6%
	産業文化会館	4.8%	65.0%	21.7%	8.5%
	男女共同参画推進センター	1.3%	23.1%	48.4%	27.2%
社会教育系施設	郷土博物館	4.5%	69.2%	18.9%	7.5%
	図書館	10.3%	77.8%	7.1%	4.8%
スポーツ・レクリエーション系施設	市民プール	10.7%	49.6%	29.1%	10.5%
	総合体育館	8.5%	70.3%	14.4%	6.7%
産業系施設	商工センター	2.3%	43.8%	40.0%	13.9%
学校教育系施設	小中学校	4.4%	55.4%	31.3%	8.9%
子育て支援施設	市立保育園	26.1%	56.7%	7.3%	10.0%
	学童保育室	28.2%	54.6%	6.3%	10.8%
保健・福祉施設	老人福祉センター	22.0%	53.2%	11.6%	13.2%
	総合福祉会館	12.9%	53.3%	18.4%	15.3%
行政系施設	市役所・支所	3.5%	64.6%	24.6%	7.3%
公営住宅	市営住宅	6.7%	36.6%	38.6%	18.0%
公園	古代運會館	5.0%	52.9%	33.9%	8.1%

問 1 2 公共施設の再編成を進めた場合、身近で利用してきた施設が遠くなるなど、利用しづらくなる場合もあると考えられます。このことについてどのように思いますか。（○は1つ）

公共施設の再編成を進めることに対する理解度については、「ある程度までは許容できる」が最も多く67.2%、次いで「許容できる」が18.4%、「許容できない」が5.8%と続いている。
 公共施設の再編成は許容できないという意見が一部あるものの、今後の施設の再編成を行うことについて、一定水準までならば許容できると考えている市民は、全体の85%を超える結果となっている。

（図表 1 2）再編成を進めた場合の考え方

	内容	回答数	割合
1	許容できる	137	18.4%
2	ある程度までは許容できる	501	67.2%
3	許容できない	43	5.8%
4	その他	24	3.2%
5	わからない	33	4.4%
6	無回答	8	1.1%
	合計	746	100.0%



(2) 市報ぎょうだによる情報共有

公共施設に関する市民アンケートでは、本市の公共施設マネジメントの取組に対する認知度が約3分の1と低いことが分かりました。これを受けて、本計画の策定にあたっては、取組に関する市民のみなさんへの情報共有を図るため、2018年7月から11月にかけて、4回にわたって市報ぎょうだへの連載を実施しました。なお、各回の掲載内容は以下のとおりです。

第1回(2018年7月号): 公共施設が抱える課題と今後の取組

第1回では、本市が公共施設マネジメントに取り組む必要性(公共施設の将来を考える必要性)について紹介しました。具体的には、2016年3月に策定した総合管理計画における公共施設等の現状と課題、将来世代の負担軽減に向けた今後の取組目標等の考え方を記載しました。

第2回(2018年8月号): 公共施設の再編に向けた今後の取組①

【今】からみんなで考えよう! 公共施設の将来 ~【第2回】公共施設の再編に向けた今後の取組み~

市では、将来にわたって安心・安全な施設においてサービスの提供を継続していくため、「公共施設の再編」に取り組んでいます。今月号では、「公共施設の再編」の考え方や実施手法を紹介いたします。

第2回では、本市の公共施設マネジメントの取組のうち、「公共施設の再編」について紹介しました。具体的には、公共施設が抱える課題の解決に向けた取組目標を達成するための手法として、集約化、複合化、転用といった公共施設の再編手法を記載しました。

第3回 (2018年9月号) : 公共施設の再編に向けた今後の取組②

「今」からみんなで考えよう! 公共施設の将来

～[第3回]公共施設の再編に向けた今後の取組み～

「市報さようだ」7月号から連載を始めた公共施設マネジメントの特集も今回で3回目。今月号では、8月号に続き、公共施設再編の手法の一つである「長寿命化」を紹介いたします。

まよふた児童中学校
1年 小ひり

安心・安全な公共施設を利用したい。それには施設の耐震的化や長寿命化を上手に活用して、必要なサービスを廃しながらか、施設の再編を進めていくことが大事だと思います。

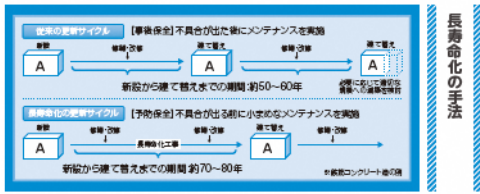
まよふた中学校
用正の3才先生

新しい施設も魅力的ですが、やはり慣れ親しんだ施設は多く大切に利用していきたいですね。やりくり経費の節を聞いて、これはどう思うか?

町田市立図書館
小ひり

施設の数を減らすことも大切ですが、今ある施設を安全に長く維持していくことも、上手なやりくりの一つです。施設の「長寿命化」により、それが可能になります。

公共施設の長寿命化って何?
先月号の探検で、公共施設の再編として施設の集約化や複合化など、施設数の適正化を回りながらサービスを維持する手法を学んだことは、今月号では、今ある施設を安全に長く利用するための手法「長寿命化」について学んでいます。



現在、市では、公共施設マネジメントを広く市民の皆さんに知っていただくために、地域を単位として市民意見交換会を開催しています。自治会役員や地域リーダーも参加していただき、ぜひご参加いただき、皆さんのご意見をお聞かせください。

こまめな修繕や改修を行う長寿命化工事によって、建物より長い寿命で稼働させることが出来ます。また、長寿命化は更新費の削減にも有効な手法です。8月号と今月号で公共施設再編の手法を紹介しましたが、施設ごとに集約化や長寿命化など、最適な手法を選択することが重要です。

従来の更新サイクルイメージ (50年)
更新年数 (目標) 50年
更新年数 (実際) 50年

長寿命化の更新サイクルイメージ (70年)
更新年数 (目標) 70年
更新年数 (実際) 70年

第3回では、本市の公共施設マネジメントの取組のうち、「公共施設の長寿命化」について紹介しました。
具体的には、公共施設が抱える課題の解決に向けた取組目標を達成するための手法として、不具合が出る前にこまめなメンテナンスを実施する「予防保全方式」の維持管理による長寿命化について記載しました。

第4回 (2018年11月号) : 地域別住民意見交換会について

「今」からみんなで考えよう! 公共施設の将来

～[第4回]地域別住民意見交換会について～

現在策定を進めている公共施設マネジメント計画に市民の皆さんの意見を取り入れるため、7月から10月にかけて公共施設マネジメント計画(案)に関する住民意見交換会を各地域で開催しました。全14か所で開催した住民意見交換会には、延べ158人の市民の皆さんに参加していただき、本市の公共施設が抱える課題や今後の取組をお伝えするとともに、さまざまなご意見・ご要望を伺うことができました。今回は、開催概要や主な意見などを紹介します。

住民意見交換会の開催状況

地区名	開催日	場 所	地区名	開催日	場 所
志・竹田	7月31日	志・竹田公民館	須田	9月18日	須田公民館
石原	8月7日	石原公民館	荒木	9月20日	荒木公民館
埼玉	8月9日	埼玉公民館	星宮	9月26日	星宮公民館
神田	8月21日	神田公民館	下忍	9月27日	下忍公民館
星河	8月22日	星河公民館	大井	10月2日	大井公民館
鹿野	9月11日	鹿野公民館	南河原	10月3日	南河原公民館
北河原	9月12日	北河原公民館	木田	10月4日	木田公民館

- 主な意見・要望**
- 志・竹田公民館は、水城公園の近くにある関係上、観光案内機能も担っている。観光案内を充実させるなど、地域の集約に合わせた機能の検討が必要と考える。
 - 市内に身近な施設よりも機能が重複している大規模施設の廃止を進めてほしい。
 - 公共施設の建て替えの際には、PFI等などの民間資金を活用するべきではない。
 - 公共施設の再編には、大規模な費用が必要なのではないか。
 - 施設再編により不便となる人もいるので、移動手段の確保もセットで検討するべきである。
 - 小学校は、地域コミュニティにとって大切である。統廃合に反対はしていないが、地域コミュニティを弱くするような施設の削減はよくない。
 - 老人福祉センター大規模な再編を、幅広い世代が利用できる施設とするべきである。
 - これらをしっかりと検証し、今後の公共施設再編に当たっては、ランニングコストや更新費用などを試算し、長期的視点をもって判断するべきである。
 - 地域の特性や人口規模などの地域差を考慮し、計画の検討を進めてほしい。
 - スマートフォン端末に基づき、今後のまちづくりを検討する必要がある。
 - 施設再編後の施設活用は、地域に活用することなどで併せて示してほしい。
 - 災害時の避難場所としての機能を考える。施設のあり方を検討してほしい。
 - 小・中学校の複合施設は、地域を元気にしてほしい。
 - 施設をできるだけ長く使用することも大切だが、ランニングコストなどの負担を減らし、削減すべきものは検討していくべきである。
 - ※PFI-公共施設などの整備に民間資金とノウハウを活用し、公共サービスを民間主導で行うこと
- 市では、市ホームページや改築推進室で、引き続き、意見の募集を行っていますので、お気軽にご意見をください。

今後、いただいたご意見を参考に公共施設マネジメント計画をまとめていくとともに、12月には、再度市民の皆さんのご意見を伺うためのパブリックコメントの実施を予定していますので、ご協力をお願いします。

▶問い合わせ 改築推進室ファシリテーターマネジメント担当(内線327)

第4回では、2018年7月から10月にかけて実施した地域別意見交換会の開催概要や、主なご意見・ご要望等について記載しました。
地域別意見交換会では、公共施設の再編の推進に関する事、学校再編に関する事、まちづくり・地域の特性に関する事、移動手段(交通手段)に関する事、防災・安心安全に関する事等、たくさんのご意見やご要望をいただきました。

(3) 行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会開催記録

行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会設置要綱

(設置目的)

第1条 行田市公共施設マネジメント計画の策定に向けて、市内公共施設の今後の方向性を検討し、将来における公共施設の最適配置を実現するため、行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を処理する。

- (1) 公共施設マネジメント計画案の調整に関すること。
- (2) 公共施設の今後の方向性の素案の作成に関すること。
- (3) 所属部内の連絡調整に関すること。
- (4) その他公共施設のあり方を検討するために必要な事務に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる者をもって組織する。

(委員長の職務等)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員長に総合政策部長、副委員長に改革推進室長をもってこれに充てる。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を聴き、又は委員以外の者に資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、総合政策部改革推進室において処理する。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年2月14日から施行する。

別表（第3条関係）

総合政策部長
総合政策部企画政策課長
総合政策部財政課長
総合政策部改革推進室長
総務部人権推進課長
市民生活部地域づくり支援課長
環境経済部環境課長
環境経済部商工観光課長
健康福祉部子ども未来課長
健康福祉部高齢者福祉課長
都市整備部都市計画課長
建設部営繕課長
消防本部総務課長
学校教育部教育総務課長
生涯学習部ひとつくり支援課長
生涯学習部スポーツ振興課長
生涯学習部中央公民館長

開催概要

第1回行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会

日時

平成30年3月20日（火） 午後3時00分～3時55分

場所

産業文化会館 2階 第2会議室

議題

- (1) 本市の公共施設マネジメントの現状について
- (2) 庁内検討委員会の所掌事項について
- (3) 施設の統廃合に係る事務局案について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) その他

第2回行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会

日時

平成30年6月25日（月） 午後1時30分～2時30分

場所

市役所 305会議室

議題

- (1) 各施設所管部署の意向を踏まえた方針案（素案）について
- (2) 今後のスケジュールについて

第3回行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会

日時

平成30年7月17日（火） 午前10時00分～11時30分

場所

市役所 305会議室

議題

- (1) 各施設所管部署の意向を踏まえた方針案（素案）の決定について
- (2) 公共施設マネジメント（案）に関する住民意見交換会について
- (3) 今後のスケジュールについて

第4回行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会

日時

平成30年10月25日（木） 午後1時30分～2時05分

場所

市役所 305 会議室

議題

- (1) 公共施設マネジメント計画（案）に関する住民意見交換会の実施報告について
- (2) 公共施設マネジメント計画書（案）について
- (3) 今後のスケジュールについて

第5回行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会

日時

平成30年12月13日（木） 午前10時00分～11時15分

場所

市役所 305 会議室

議題

- (1) 公共施設マネジメント計画（案）の素案について
- (2) パブリックコメントの実施概要について
- (3) 今後のスケジュールについて

第6回行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会

日時

平成31年3月11日（月） 午前10時00分～10時35分

場所

市役所 305 会議室

議題

- (1) パブリックコメントの実施結果報告について
- (2) 公共施設マネジメント計画の最終案について